

第2期

霧島市ふるさと創生総合戦略

(案)

令和2（2020）年 月

鹿児島県霧島市

【目次】

第Ⅰ章 基本的な考え方

1	総合戦略策定の趣旨	1
2	第2期総合戦略の位置づけ	1
3	戦略の期間	1
4	国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係.....	2
5	第1期総合戦略の振り返り	2
6	第2期総合戦略の目標	2
	（1）人口目標	2
	（2）3つの基本目標	2
	（3）横断的な目標	3
7	戦略の推進に向けて	3
	（1）推進体制	3
	（2）総合戦略の検証・改善	3

第Ⅱ章 基本目標及び具体的な施策

1	第2期霧島市ふるさと創生総合戦略全体図.....	5
2	基本目標と施策の概要	6
	Ⅰ 訪れたいまち	7
	Ⅱ 住み続けたいまち	10
	Ⅲ 働きたいまち	21

第 I 章 基本的な考え方

1 総合戦略策定の趣旨

我が国における急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、平成 26 年 11 月にまち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）が制定され、同年 12 月には、国において施策を総合的かつ計画的に実施するための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。本市においても、国の総合戦略を勘案し平成 27 年 10 月に策定した「霧島市ふるさと創生総合戦略」（以下「第 1 期総合戦略」という。）に基づき、合計特殊出生率の向上や移住者の受け入れ・人口流出の抑制等に取り組んできたところです。

このような中、第 1 期総合戦略の期間が令和元年度末をもって終了することから、同戦略に基づくこれまでの取組について検証を行うとともに、令和元年 12 月に策定された国の第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容等を踏まえ、令和 2 年度を始期とする第 2 期霧島市ふるさと創生総合戦略を策定し、本市における地方創生の充実・強化に向けて、切れ目のない取組を進めようとするものです。

2 第 2 期総合戦略の位置づけ

第 2 期総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法第 10 条の規定に基づき、本市における地方創生に関する目標や施策の基本的方向等について定めるものです。策定に当たっては、本市の最上位計画である第二次霧島市総合計画の内容に即するとともに、国や県のまち・ひと・しごと創生総合戦略の内容を勘案することとします。

3 戦略の期間

第 2 期霧島市ふるさと創生総合戦略の期間は、始期を令和 2 年（2020 年）度とし、終期を第二次霧島市総合計画前期基本計画の最終年度である令和 4 年（2022 年）度とする 3 年間とします。

2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
			第二次霧島市総合計画 基本構想(2018年度～2027年度:10年間)										
			前期基本計画 (2018年度～2022年度:5年間)					後期基本計画 (2023年度～2027年度:5年間)					
								↑	統合し一体的に策定				
霧島市ふるさと創生総合戦略 (2015年度～2019年度:5年間)					第2期霧島市ふるさと創生 総合戦略 (2020年度～2022年度:3年間)			第3期霧島市ふるさと創生総合戦略 (2023年度～2027年度:5年間)					

4 国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係

国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則、4つの基本目標に基づき、人口減少や経済規模の縮小などの課題克服に向け、本市の強みを活かした総合戦略を策定、推進することで、「まち・ひと・しごと」の創生と好循環の確立を目指します。

○4つの基本目標

- 基本目標1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
- 基本目標2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

5 第1期総合戦略の振り返り

平成27年(2015年)度から平成31年(2019年)度を計画期間とする第1期創生総合戦略では、「まちを元気にする、人を豊かにする産業づくり」「訪れたい、住み続けたいまちづくり」「幸せな家庭づくりを支える環境づくり」「暮らしやすい、暮らしたくなる地域づくり」の4つの基本目標を掲げ、人口減少や経済規模の縮小などの課題克服に向けた各施策に取り組んできました。その結果、期間途中の平成30年(2018年)度末時点において、基本目標の成果指標のうち「誘致企業件数」「新規創業件数」「高校生の地元就職率」については、目標を達成又は順調に推移しており、一定の成果が表れています。また、「合計特殊出生率」についても、年度間で変動はあるものの、上昇傾向にあり、国や県よりも高い数値となっています。

しかしながら、国全体として、東京圏への転入超過が拡大する中、本市の人口も減少が続いており、同戦略の目標である人口減少の克服には至っていない状況です。

一方、地方創生の実現に向けては、中長期的な視点による継続的な取組が求められており、これまでもPDCAサイクルに基づく効果検証等を行いながら効果的・効率的な施策の推進に努めてきたところです。今後も「継続は力なり」という姿勢を基本に、必要な改善を加えながら、本市における地方創生の充実・強化に向けて、切れ目のない取組を進めていきます。

6 第2期総合戦略の目標

(1) 人口目標

地方創生に向けた取組の継続性の観点から、第2期総合戦略における人口目標は前戦略で掲げた人口目標を継承し、2060年において、人口13万人とすることを目標とします。

本市の人口目標：13万人(2060年)

(2) 3つの基本目標

前述の人口目標を達成するためには、第1期総合戦略に引き続き、「出生率の向上」等による

自然減の抑制と移住定住促進等による社会減の抑制に向けた取組を継続するとともに、「魅力ある多様な就業機会の創出（しごとの創生）」や「安心して生活できる地域社会の形成（まちの創生）」に取り組んでいく必要があります。

第2期総合戦略の推進にあたっては、上位計画である第二次霧島市総合計画の「KIRISHIMA みらいプロジェクト」を踏まえた上で、第1期総合戦略の施策体系を再編し、

I 訪れたいまち

II 住み続けたいまち

III 働きたいまち

の3つの基本目標を定め、総合戦略を推進していきます。

(3) 横断的な目標

【多様な人材の活躍を推進する】

人口減少や少子高齢化が進行する中で、本市が持続的に発展し、活気あふれる地域をつくるためには、企業、NPO等のまちづくりへの参画はもとより女性、高齢者、障害者、外国人など、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会を実現することが重要であり、一人ひとりが個性と多様性を尊重され、生きがいを感じながら暮らすことができるコミュニティ形成を目指します。

【新しい時代の流れを力にする】

各分野における少子高齢化による労働力不足への対応や、生活や産業の利便性の向上を図るため、IoTやAI等の未来技術を活用するなど「Society5.0」の視点をもって各施策を推進します。

また、具体的な施策の展開にあたっては、SDGs（持続可能な開発目標）の理念も踏まえ、それぞれの課題解決等に取り組めます。

7 戦略の推進に向けて

(1) 推進体制

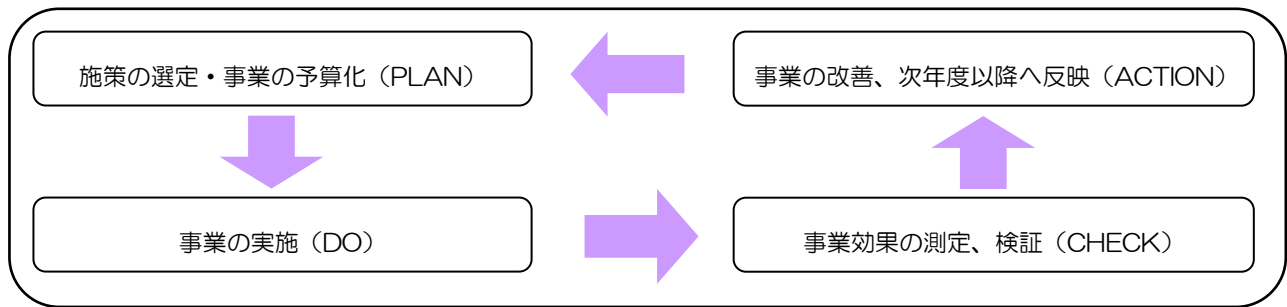
第2期総合戦略を効果的かつ効率的に推進していくため、住民をはじめ、“産官学金労言”など様々な有識者で構成する「霧島市ふるさと創生有識者会議」や庁内組織として「霧島市地方創生推進本部」及び「霧島市地方創生推進委員会」を設置し、相互の共通認識のもと、自らの役割を果たしながら、市全体が一体となった施策の推進に努めます。

(2) 総合戦略の検証・改善

第2期総合戦略の効果を検証し、改善を図っていくため、基本目標ごとに“成果指標”を掲げるとともに、施策ごとに“重要業績評価指標（KPI）”を設定し、これらの具体的な数値目標に基

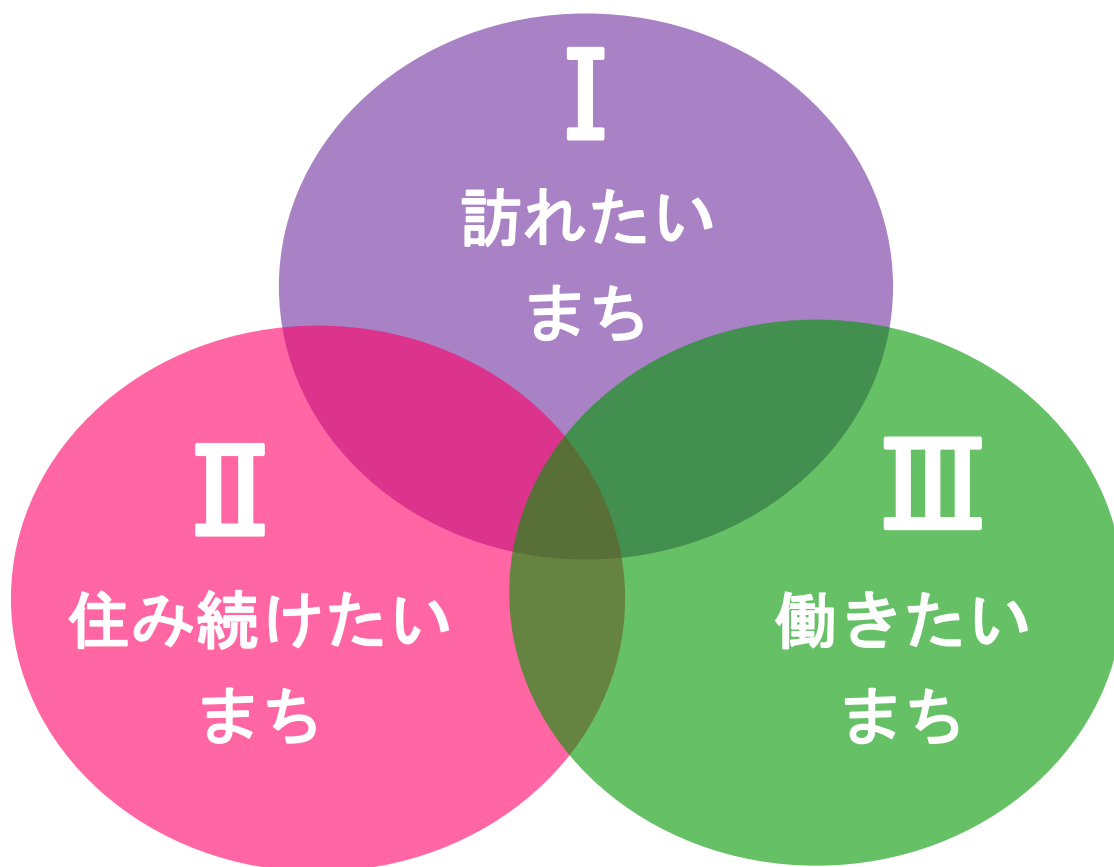
づき、施策の効果を客観的に検証、改善を行っていく仕組み（PDCA サイクル）を構築し、推進します。

《PDCAサイクルの実践イメージ》



第Ⅱ章 基本目標及び具体的な施策

【第2期霧島市ふるさと創生総合戦略 全体図】



基本目標の成果指標

	基準値 (H30)	目標値 (R4)
I 相談窓口を経た移住者数	203人/年	⇒ 300人/年
I 入込観光客数(宿泊+日帰り)	7,720千人/年	⇒ 8,034千人/年
I 観光消費額	67,628百万円/年	⇒ 70,373百万円/年
II 合計特殊出生率	1.73	⇒ 1.84
II 社会動態 ※転入者、転出者	社会増に転換 ※転入者数>転出者数	
III 立地協定締結件数(増設含む)	64件	⇒ 79件 ※延べ件数
III 創業者数	16事業者/年	⇒ 18事業者/年
III 農業産出額	21,940百万円/年 (H29)	⇒ 21,970百万円/年

基本目標と施策の概要

I 訪れたいまち

- I-1 I・J・U “移住天国霧島” 魅力倍増計画
 - (1) おじゃんせ霧島PRプロジェクト
 - (2) おじゃんせ霧島支援プロジェクト
- I-2 “感動”を生み出す霧島流「五感再生ツーリズム」
 - (1) 五感に響く観光資源の発見と価値の創出
 - (2) 価値の伝達と観光客の誘致
 - (3) 受け入れ環境の整備

II 住み続けたいまち

- II-1 結婚・出産・子育て支援の充実
 - (1) 出会いの場の創出
 - (2) 安心して妊娠・出産できる環境づくり
 - (3) 子育てをみんなで支える環境づくり
- II-2 子どもの夢と豊かな心を育む教育の推進
 - (1) 子どもたちの夢をかなえる機会の提供
- II-3 住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成
 - (1) 地域の特性を活かしたまちづくり
 - (2) 安心・安全なまちづくり
 - (3) 医療体制の充実
 - (4) 高齢者、障がいのある方が生き生きと暮らせる地域共生社会の実現
- II-4 既存ストック活用による「小さな拠点」等の形成
 - (1) 住民の“よりどころ”となる「小さな拠点」形成
 - (2) 空き家・空き店舗の利活用
 - (3) 公的不動産の有効活用
- II-5 公共交通の見直し等による生活利便性の向上及び地域間連携の推進
 - (1) 地域交通ネットワークの充実
 - (2) 高齢者や乳幼児を連れた方にやさしい交通環境の整備
 - (3) 広域都市連携による特色あるまちづくり
- II-6 環境と調和したまちづくりの推進
 - (1) 良好な環境の保全と形成
 - (2) 環境に配慮した再生可能エネルギーの推進
 - (3) 暮らしやすいまちを形成するための基盤整備やインフラ等の維持管理の推進

III 働きたいまち

- III-1 「強み」を活かした企業の誘致、中小零細企業の多様で活力のある成長・発展の実現
 - (1) 企業誘致強化プロジェクト
 - (2) 地域経済を支える中小零細企業の持続的成長・発展に向けた支援
 - (3) 地域産業の新陳代謝の促進
- III-2 「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造
 - (1) 農林水産業の経営基盤強化
 - (2) 農林水産業等の“稼ぐ力”向上プロジェクト
- III-3 女性・若者・高齢者と市内企業を繋ぐ就職マッチング
 - (1) 学生就職支援プロジェクト
 - (2) 女性や若者、高齢者が活躍できる雇用環境支援プロジェクト

I 訪れたいまち

I-1 I・J・U “移住天国霧島”魅力倍増計画

概要・目的

移住希望者に向けて本市の多様な魅力を積極的に情報発信するとともに、移住者・定住者の拡大を図るための新たな支援や相談体制の充実に取り組みます。また、移住・定住に至らないものの、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大に向けた取組を推進します。

(1)おじゃんせ霧島PRプロジェクト

「飛行機を降りたらそこは霧島市」をキャッチフレーズに、全国各地、また海外からの往来にも便利な地域であることや自然・温泉・食などに恵まれていることをPRするとともに、インターネットの活用や口コミによる幅広い世代への情報発信を推進します。

■ 想定される取組

- ・インターネットの活用やメディアセールスなど効率的な宣伝の展開
- ・ふるさと会など市外在住者への情報発信による「人から人へ」の口コミ情報発信
- ・官民一体となったシティプロモーションの展開

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
移住プロモーションによる相談件数	件	396	450
「クリシマイチャンネル」フォロワー数	件	1,286	2,050

(2)おじゃんせ霧島支援プロジェクト

中山間地域に移住する方へのきめ細やかな支援を行うとともに、本市の自然を活かした移住体験機会の充実に図るなど、幅広い世代の移住・定住を促進します。

■ 想定される取組

- ・移住希望者へのやさしい、きめ細やかな相談体制の確立
- ・空き家を活用した補助事業や移住定住促進事業による支援
- ・観光などを目的とした宿泊滞在から移住に繋げるための取組
- ・農業体験など受入れ体制の確立に向けた取組
- ・官民協働による新たな移住定住施策の展開

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
相談窓口を経た移住者数	人	203	300

I 訪れたいまち

I-2 “感動”を生み出す霧島流「五感再生ツーリズム」

概要・目的

日本初の国立公園「霧島」や天孫降臨神話など、本市特有の歴史・文化的条件、山や川、海、温泉、食などの多種多様な資源や素材を活かし、五感に響く、感動を生み出す霧島ならではの観光施策の展開により、国内外からの交流人口増加を目指します。

(1) 五感に響く観光資源の発見と価値の創出

霧島の多種多様な資源や素材を活かし、市民や交通機関・宿泊施設・観光施設・行政等が連携を密にし、五感に響くような価値を持った観光メニューや観光ルートを開発します。

■ 想定される取組

- ・五感を切り口にした霧島の資源や素材の掘り起し
- ・着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築
- ・新しい霧島の地域ブランド「五感再生ツーリズム」の創出
- ・プロスポーツキャンプ、各種スポーツ団体の合宿や各種大会等の誘致活動

重要業績評価指標 (K P I)	単位	基準値	目標値 (R 4)
開発又は磨き上げた観光資源の数	件	51	55
スポーツキャンプ・スポーツ合宿・大会の誘致団体数	件	21	22

(2) 価値の伝達と観光客の誘致

観光地としての認知度や課題等の現状分析を実施するとともに、SNS、ホームページ、マスコミュニケーション等各種メディアの活用や観光関連組織との連携を図り、「五感再生ツーリズム」の価値や観光商品の効果的な広報宣伝活動を推進します。

■ 想定される取組

- ・市場のニーズやマーケットなどの情報収集及びマーケティング環境の変化に対応したアプローチ
- ・共感連鎖を生み出すための情報受発信の効果的なマネジメント
- ・観光・農商工関係者など様々な団体と連携したプロモーション
- ・鹿児島空港定期便就航地などをターゲットにした効果的なプロモーション

I 訪れたいまち

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
プロモーション件数	回／年	33	35
国内宿泊客数	人	838,640	872,700

(3)受け入れ環境の整備

国内外の観光客にも分かりやすい観光案内板の設置や二次アクセスの向上による周遊性の高い観光地づくりに取り組みます。

■ 想定される取組

- ・霧島市観光ガイド連絡協議会の充実・強化
- ・鹿児島空港や JR を核とした二次アクセスの充実
- ・国内外の観光客が分かりやすい観光地へのルート案内
- ・国際航空路線を有する空港所在地の強みを活かしたインバウンド対策の推進

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
民間の調査機関による全国温泉地満足度の順位	位	24	10
外国人宿泊客数	人	134,200	196,500

II 住み続けたいまち

II-1 結婚・出産・子育て支援の充実

概要・目的

結婚につながる出会いの場を創出するとともに、妊娠・出産・子育てに関する支援を充実させることにより、安心して生み育てられる環境づくりに取り組みます。

(1) 出会いの場の創出

独身男女の出会いの場の創出などにより、結婚への新たなステップを支援します。また、結婚の喜びや素晴らしさを伝えることで結婚に対する機運の醸成を図ります。

■ 想定される取組

- ・企業や団体等と連携した婚活イベント等の実施や各種支援策のPR
- ・ボランティア活動やイベントなどを通じた出会いの場の創出
- ・結婚の喜び・素晴らしさに関する情報の発信

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値（R4）
かごしま出会いサポートセンターにおける霧島市民の登録者数	人	50	60

(2) 安心して妊娠・出産できる環境づくり

安心して子どもを生み育てることができる支援体制の充実を図ります。また、妊娠期・出産期・乳幼児期を通じた母子に対する保健・医療施策を充実することにより、妊娠・出産に関する不安の軽減を図ります。

■ 想定される取組

- ・安心して妊娠・出産できる母子保健サービスの充実
- ・妊娠期から乳幼児期までの相談体制の充実

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値（R4）
妊娠・出産について満足している市民の割合	%	80.1（H28）	85.0

Ⅱ 住み続けたいまち

(3)子育てをみんなで支える環境づくり

子育てに対する負担の軽減や、子育て中の親が気軽に集い、お互いに育児の悩みを共有することができる交流の場づくり、相談体制の充実などにより、安心して子育てのできる環境づくりを行います。また、育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

■ 想定される取組

- ・多様な保育ニーズに応じたきめ細やかな支援体制の充実
- ・子どもの成長過程に応じた各種相談や子育て支援に関する情報発信の充実
- ・地域や職場ぐるみによる子育て支援の推進
- ・親子で楽しめる遊びや学びの場の提供

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
子育て支援センター等の利用者数	人	66,386	67,450

II 住み続けたいまち

II-2 子どもの夢と豊かな心を育む教育の推進

概要・目的

霧島市の将来を担う子どもたちが、生涯にわたって自ら学び、高い志をもち社会を生き抜く力を備える教育を推進します。それを支えるために教育分野の基本方針(政策)である「社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり」の実現に向け、学校・家庭・地域・関係機関が一体となって取り組みます。

(1)子どもたちの夢をかなえる機会の提供

子どもたちの夢を育み、その夢の実現を支え、将来、社会に貢献できる人材を育成するため、確かな学力の定着、思いやりの心と目標を持ち続け努力する心の醸成及び健康づくりや体力の向上を図ります。また、市民が共に学びあい、共に育みあう環境づくりに努め、幅広い地域住民の参画により、地域全体で子どもの成長を支える活力ある地域づくりを目指します。

■ 想定される取組

- ・学力の向上と豊かな心や個性を育む教育の充実
- ・外国人とのコミュニケーション能力を身につける英語教育等の推進
- ・食育の推進による健やかな体を育む教育の充実
- ・家庭や地域の教育力の向上と子どもの自立を地域全体で支える環境づくりの推進
- ・生涯スポーツ、文化芸術に親しむための環境づくりの充実と交流人口の拡大

重要業績評価指標 (K P I)	単位	基準値	目標値 (R 4)
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	59.2	65.0
全国学力学習状況調査における平均正答率の国との比較	ポイント	-4.3	1
霧島市スポーツまつりの参加者数	人	3,308	3,500
芸術文化事業の実践者及び鑑賞者の人数	人	99,154	118,000

II 住み続けたいまち

II-3 住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成

概要・目的

地区自治公民館を中心とした住民自治を推進するとともに防犯・防災対策や医療・福祉体制の充実などを図り、魅力ある地域社会の形成と安心・安全な暮らしを送ることができる環境づくりを推進します。

(1) 地域の特性を活かしたまちづくり

地区自治公民館や自治会を中心とした住民自治を推進し、それぞれの地域特性に沿った活力あるまちづくりに向けた取組を積極的に支援します。

■ 想定される取組

- ・地域が自主的に地域を創生していくための「地域まちづくり計画」の推進
- ・地区自治公民館相互の連携による情報の共有や新たな取組の推進
- ・地域の特性を活かしたまちづくり実現のため、互いに協力して取り組む地域活動への支援
- ・地域おこし協力隊、集落支援員等による自治活動支援の促進

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値（R4）
地域まちづくり計画を策定した団体の割合	%	97.7	100
自治公民館連絡協議会における研修会の開催回数	回	11	14
まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数	団体	1,051	1,080

(2) 安心・安全なまちづくり

地域住民が安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するため、自主防災の重要性を日ごろから認識してもらうための取組を推進するとともに、地域での防犯活動や災害に備えた協力体制の充実・強化を図ります。

■ 想定される取組

- ・防犯・防災の体制整備やその重要性に関する意識の普及・啓発
- ・自主防犯・防災組織の活動の充実
- ・関係機関の相互応援体制の充実・強化
- ・災害等に対応した情報伝達網の充実

II 住み続けたいまち

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
防災行政無線と地域コミュニティ無線を接続した件数	件	616	622
市内の刑法犯認知件数	件	582	552

(3) 医療体制の充実

始良・伊佐保健医療圏域における中核病院である霧島市立医師会医療センターの機能充実や医療関係機関との連携により、市民がいつでも安心して医療を受けられる体制づくりを図ります。

■ 想定される取組

- ・霧島市立医師会医療センターの機能充実
- ・医療機関の連携による救急医療・小児医療体制の充実
- ・在宅医療やかかりつけ医などの推進

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
休日診療に参加する医療機関数	件	133	134

(4) 高齢者・障がいのある方が生き生きと暮らせる地域共生社会の実現

高齢者、障がいのある全ての方が、可能な限り住み慣れた地域で、尊厳を保ち、自分自身の「望む暮らし」を送ることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進し、地域共生社会の実現を目指します。

■ 想定される取組

- ・高齢者、障がいのある方の地域活動への参加促進や就業・就労支援
- ・住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりとサービスの充実

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
新規に福祉サービスへ繋がった件数	件	96	150
地域のひろば推進事業の実施件数	件	93	130

Ⅱ 住み続けたいまち

Ⅱ-4 既存ストック活用による「小さな拠点」等の形成

概要・目的

公共施設や空き家・空き店舗などの既存ストック等を有効活用するリノベーションまちづくり等を推進し、地域の魅力の維持・向上、地域住民による助け合いや多様な活動の活性化を図ります。特に中山間地域では、「小さな拠点」の形成により地域の特性を活かしたまちづくりに取り組みます。

(1) 住民の“よりどころ”となる「小さな拠点」形成

中山間地域等において、可能な限り既存施設等を活用しながら生活に必要な機能を維持するとともに、多世代交流を促す場を提供すること等により、住民同士の助け合いや地域資源を活かした多様な活動の創出を目指します。

■ 想定される取組

- ・地域の実情分析や「小さな拠点」に必要とされる機能の調査・研究
- ・総合支所などの公共施設の利活用による新たな機能の充実
- ・「小さな拠点」を核とした新たなコミュニティづくりの推進

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値（R4）
地域座談会・地域インタビューの開催回数	回	1	1

(2) 空き家・空き店舗の利活用

空き家・空き店舗に係る情報を一元的に管理し、情報提供の拡充を図るなど、空き家・空き店舗の利活用を促進します。

■ 想定される取組

- ・リノベーションまちづくりの推進
- ・空き家・空き店舗に関する情報収集及び提供
- ・空き家・空き店舗の所有者と利用・借用希望者とのマッチング支援

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値（R4）
空き店舗等ストックバンクの登録件数	件	62	122
空き店舗等を活用した出店体験・イベント件数	件	0	6
空き家バンクの登録件数	件	47	75

Ⅱ 住み続けたいまち

(3) 公的不動産の有効活用

地域の特性や課題等を考慮しつつ、施設の用途にとらわれない横断的な利活用や民間活力の活用等を検討し、公的不動産の有効活用を図ります。

■ 想定される取組

- ・公共施設の利活用に向けた地域住民のニーズの把握
- ・公共施設の多機能化等による民間活力導入や新たな利活用の推進

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
官民連携等による公共施設等の有効活用や維持管理を実施した件数	件	0	1

II 住み続けたいまち

II-5 公共交通の見直し等による生活利便性の向上及び地域間連携の推進

概要・目的

買い物、通院等の生活サービスへのアクセス性を改善し、生活利便性の向上を図るとともに、地域間の連携を促進するため、地域公共交通の見直し等を行います。また、近隣自治体との連携による広域的な地域の魅力づくりや情報発信を行います。

(1) 地域交通ネットワークの充実

中山間地域を中心とした交通アクセスの利便性向上を図るため、地域内移動や中心市街地へのアクセスなど地域特性や住民ニーズにあった交通網の整備を図ります。また、交流人口の拡大を図るため、空港やJRをはじめとする交通結節点との相互連携等を図ります。

■ 想定される取組

- ・地域ニーズにあった多様な交通手段の確保
- ・総合支所や本庁、空港やJRなどの交通結節点を核とした交通網の形成
- ・航空路線の確保や拡大に向けた航空機利用の促進
- ・国県道をはじめとする円滑な道路交通ネットワークの形成推進

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値（R4）
ふれあいバスの1便当りの利用者数	人	3.8	5.0
JR肥薩線（吉松～隼人）の平均通過人員	人	656	660
JR日豊本線（都城～国分）の平均通過人員	人	1,438	1,480
鹿児島空港乗降客数	人	6,066,626	6,404,000

(2) 高齢者や乳幼児を連れた方にやさしい交通環境の整備

高齢者や乳幼児を連れた方など、誰もが安心・安全に利用できるように、地域公共交通のアクセス拠点、乗り換え拠点等のユニバーサルデザイン化を推進します。

■ 想定される取組

- ・主要な公共交通施設等のバリアフリー化の推進

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値（R4）
バリアフリー化を講じている市内JR駅	箇所	6	8

Ⅱ 住み続けたいまち

(3) 広域都市連携による特色あるまちづくり

行政区域を越えた広域的な観点から自然環境の保全や地域の魅力づくり、効率的かつ効果的な情報発信を行うため、広域連携や関係自治体との連携による特色あるまちづくりを目指します。

■ 想定される取組

- ・環霧島会議や錦江湾奥会議等における近隣市町等との連携推進

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
広域連携により取り組んだ事業数	件	8	9

II 住み続けたいまち

II-6 環境と調和したまちづくりの推進

概要・目的

暮らしやすい街を形成するための基盤整備や効率的なインフラの維持管理を行うとともに、山、川、海に恵まれた豊かな環境を将来の世代に引き継ぐため、環境と調和した自然にやさしいまちづくりを推進します。

(1) 良好な環境の保全と形成

本市の豊かな自然と住みよい環境を将来の世代に引き継いでいくため、良好な環境の保全と形成に関する様々な取組を市民や事業者などと協働して行います。

■ 想定される取組

- ・豊かな自然環境の保全対策の推進
- ・市民や事業者の環境保全意識の向上に向けた取組の推進
- ・企業や地域など社会全体での廃棄物の減量化と適正処理の推進

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値（R4）
市民一人当たりの家庭系ごみの排出量	g	925	910
環境基準達成率	%	76.2	80.0

(2) 環境に配慮した再生可能エネルギーの推進

本市の恵まれた自然環境を活かし、安心して安全な再生可能エネルギーの導入を積極的に推進するとともに、省エネルギー対策の普及推進を図ります。

■ 想定される取組

- ・本市の地域特性を活かした安心安全な再生可能エネルギー導入の推進
- ・再生可能エネルギーを活用した地域活性化の推進

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値（R4）
再生可能エネルギー導入容量	kW	353,072	392,399

Ⅱ 住み続けたいまち

(3)暮らしやすいまちを形成するための基盤整備やインフラ等の維持管理の推進

市街地の魅力や賑わいを創出するために必要となる基盤整備の推進や、**中山間地域における情報通信基盤整備の促進、国土強靱化計画の策定、治水対策の推進等により、暮らしやすく、災害に強いまちを形成します。**また、既存の公共施設や土木インフラの効率的な維持・管理を図ります。

■ 想定される取組

- ・都市機能及び地域の魅力向上に向けた土地区画整理事業の推進
- ・暮らしやすいまちづくりに寄与する既存施設や道路をはじめとする土木インフラの効率的な整備及び維持・管理の推進
- ・多様な都市機能を備えた市街地の形成や幅広い世代が集う都市空間づくりの推進
- ・Society5.0の実現に向けた情報通信基盤等の環境整備

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
市道の改良率	%	47.9	48.0
超高速ブロードバンド整備率（世帯カバー率）	%	83.3	92.0

Ⅲ 働きたいまち

Ⅲ-1 「強み」を活かした企業の誘致、中小零細企業の多様で 活力のある成長・発展の実現

概要・目的

鹿児島県本土の中央部に位置し、空港や高速道路、主要幹線道路、鉄道網など、国内外への流通ルートが確保された地理的特性を活かし、企業誘致を積極的に推進します。また、中小零細企業の持続的成長・発展を促進するため、産学官金の連携等により、地域資源や特性を活かした産業競争力の強化を図ります。

(1) 企業誘致強化プロジェクト

企業立地に適した用地などの情報収集を強化し、用地の確保に努めるとともに、地の利、人材確保の優位性を活かした積極的な誘致活動を推進します。また、誘致企業との連絡調整を図り、安定した操業や増設など事業規模拡大への支援を行います。

■ 想定される取組

- ・企業の動向・ニーズの把握など情報収集の強化
- ・受入環境を整えるための用地の調査や確保への取組
- ・企業が進出する際の土地取得や設備投資及び地元雇用を促進するための制度拡充

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
立地協定件数（増設も含む。）	件	64	79
企業誘致によって新たに確保された雇用者数	人	1,819	2,110
誘致企業の雇用者数	人	11,408	11,780

(2) 地域経済を支える中小零細企業の持続的成長・発展に向けた支援

地域経済を支える中小零細企業の成長発展に向けた取組を中小零細企業や大企業、経済団体や金融機関等の関係機関と一体となって継続的に推進します。また、人口減少や少子高齢化といった社会構造の変化や大規模な災害等に対応するため、中小零細企業の労働生産性の向上や収益力の強化、事業継続力の強化を図ります。

■ 想定される取組

- ・労働生産性の向上や設備投資の活発化を図るための支援
- ・販路拡大や商品開発等への支援
- ・事業継続力強化を図るための支援

Ⅲ 働きたいまち

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
設備資金借入件数	件	82	82
販路拡大や商品開発に取り組む事業者数	事業者	104	106
事業継続力強化のためのセミナーの回数	回	1	3

(3) 地域産業の新陳代謝の促進

地域産業の活力を高めるため、創業への興味関心を醸成するとともに、新たなビジネスに挑戦する創業人材を支援します。また、将来にわたり地域産業の活力を維持するため、中小零細企業の円滑な事業承継が進むよう関係機関と連携して取り組みます。

■ 想定される取組

- ・創業支援等事業者との連携による伴走型の支援
- ・創業への興味関心を高める取組
- ・関係機関と連携した事業承継の推進

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
市創業支援センターにおける創業相談件数	件	48	60
創業者数	事業者	16	18
事業承継に関するセミナーの回数	回	2	3

Ⅲ 働きたいまち

Ⅲ-2 「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造

概要・目的

農林水産業の経営基盤を強化するとともに、担い手の確保・育成による事業の継続性向上など、強い農林水産業を育成します。本市の恵まれた地域特性を活かした6次産業化やブランド化の推進による農林水産物の付加価値向上及び新製品の開発を促進します。

(1) 農林水産業の経営基盤強化

農林水産業の生産性向上及び効率化を推進するとともに、担い手の確保・育成による持続可能な経営基盤を強化します。

■ 想定される取組

- ・ほ場整備や農地集約による生産現場の強化
- ・農林水産業における新規就業や経営能力の向上に対する支援
- ・農林水産業分野における労働力の確保
- ・教育機関との連携による担い手育成と学習機会の充実

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
農地集積率	%	50.0	56.0
新規就農者数	人	10人以上/年	10
林業新規就業者数	人	39	39
水産業新規就業者数	人	15	15

(2) 農林水産業の“稼ぐ力”向上プロジェクト

6次産業化やブランド化の推進により農林水産物の付加価値を高めるとともに、市場ニーズに合った新製品の開発、効果的なPRを実施することで、農林水産業における“採算性(稼ぐ力)”の向上を図ります。地産地消とともに“地産外消”による地域外からの所得を高める販路拡大の取組を進めます。

■ 想定される取組

- ・霧島市の農林水産物推奨品認証制度の普及拡大
- ・JAや漁協、企業、教育機関等との共同研究による新商品・新製品等の開発や販路拡大
- ・物産館などと連携したイベント開催などによるPRの実施
- ・ジェットロ等との連携強化による海外輸出の促進
- ・官民一体となった地域産品等のブランド化の推進や販路拡大

Ⅲ 働きたいまち

重要業績評価指標（K P I）	単位	基準値	目標値（R 4）
農林水産物推奨品認証数	件	1	10
海外輸出に向けた商談会への参加者数	人	15	21
農林水産物の新商品・新製品の開発数	件	7	13

Ⅲ 働きたいまち

Ⅲ-3 女性・若者・高齢者と市内企業を繋ぐ就職マッチング

概要・目的

企業や教育機関、ハローワークなどとの連携やネットワークを活かし、地域で育て、地域に根ざす、新たな人の流れを創造します。

(1) 学生就職支援プロジェクト

高校や高等専門学校、大学等が市内に立地する好条件を活かし、若者が市外に就職・転出する流れを変えるため、市内企業の情報を知る機会の充実を図ります。また、学生と企業のマッチングを行うことで、市内企業への就職率を向上させ、企業の安定した採用活動を推進し、新規学卒者の人材確保を図ります。

■ 想定される取組

- ・市内企業を知る機会としての企業見学会・企業説明会など情報提供機会の充実
- ・高校・大学等・企業と連携したインターンシップの推進

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値（R4）
高校生の市内就職率	%	36.9	40.0
大学生等の市内就職率	%	9.0	15.0

(2) 女性や若者、高齢者が活躍できる雇用環境支援プロジェクト

女性や若者、高齢者に対する様々な就職支援に取り組むとともに、安定した雇用環境づくりのために職場環境改善への取組を推進します。

■ 想定される取組

- ・ハローワークなど雇用相談や就職情報の提供
- ・仕事と子育て・介護等の両立支援に関する意識啓発の推進・制度の普及
- ・就職への意欲をかなえるスキルアップの機会の充実

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値（R4）
ハローワークマザーズコーナー利用者就職率	%	48	48
ハローワーク利用者のうち35歳未満の若年者就職率	%	43	43

